

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年3月11日（第1版）

承認番号	24184
課題名	頭頸部悪性腫瘍における治療標的抗原、免疫関連分子、増殖進展因子の発現解析
研究期間	西暦 2025 年 6 月 12 日（実施許可日） ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	1990 年 1 月 1 日～2025 年 4 月 30 日に当院で頭頸部悪性腫瘍の診断および治療を受けた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、血液検査結果、画像診断結果、病理診断結果、治療内容、治療効果、再発の有無、生存状況） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：口腔、舌、咽頭、喉頭、鼻腔、副鼻腔、唾液腺、甲状腺、頸部リンパ節） ■血液 ☐その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	口の中、舌、のど、鼻、唾液を分泌する腺、甲状腺、首のリンパ節などにできる悪性腫瘍を総称して頭頸部悪性腫瘍といいます。頭頸部悪性腫瘍の治療としては手術、放射線照射、抗がん剤治療が行われており、また近年では免疫療法もある程度の効果を発揮することがわかってきました。しかし、これらの治療を用いても十分な効果が得られない患者さんも多く、新しい治療法の開発が期待されています。そのため、頭頸部悪性腫瘍の診断や治療を受けた患者さんの情報を蓄積し、腫瘍組織や血液における様々な分子の発現を解析することは、新たなバイオマーカーの発見や治療法の開発に大きく役立つ可能性があります。本研究は、診断および治療時に採取された腫瘍組織や血液において、治療標的となる分子や腫瘍の悪性度に関連する分子の発現を解析することにより、頭頸部悪性腫瘍の病態解明や新しい診断・治療法の開発に役立てることを目的としています。
研究の方法	検査や手術時に採取した頭頸部悪性腫瘍の組織のうち、診断終了後の余った組織を使用して研究を行います。発現を調べたい分子に目印をつける試薬で組織を処理し、その発現具合を顕微鏡や検出機械で確認します。また、倫理委員会の承認を経て行われた過去の頭頸部悪性腫瘍に関する研究（頭頸部癌における癌抗原および免疫関連分子の発現解析〔承認番号 15005〕および上咽頭癌の病態解明に向けた分子生物学的・免疫学的解析〔承認番号 19222〕）で使用した血液の残りが保管されています。この余った血液を用いて、発現を調べたい分子を補足する試薬により血液中での発現量を測定します。さらに、カルテから年齢や性別、既往歴、各種検査結果、治療内容、再発・生存の有無などの記

	録を参照して、上記分子の発現との関連を数学的な処理を行って判断します。
その他	なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学 病理学講座免疫病理分野 講師 長門利純（研究責任者） 電話番号 0166-68-2381